



③ 国語科～学習のポイント～

読む 書く 話す・聞く



一、読む

国語の基本はまず、「読む」ことから始まります。これは、どんなことに対しても言えることです。例えば、授業もまず教科書を「読む」ことから始まりますし、テストのときも問題を「読む」ことから始まります。他の教科を勉強するときにも必ず必要となることです。しっかりと文章を読む力をつけていきましょう。

しかし、ただ「読む」だけでは不十分です。書かれている内容を深く理解することが大切です。そのためには、例えば「なぜなのか?」「ここではどんな気持ちだったのだろうか?」「自分だったらこうするのになあ」など、言葉で表現されていることの奥にあるものを考えてみましょう。それが「読む」ということです。「読む」ことができれば、なぜか?ということ「考える」ということにつながり、さらに考えを「まとめる」ということにつながっていきます。「考えながら読む」が習慣になるようにしましょう。

そうすると、毎日の朝読が大切ということに気づくと思います。学校生活に無駄なことはなく、すべてのことに意味があります。様々なことに真剣に取り組み充実した学校生活を送ることができるように頑張りましょう。

二、書く

授業ではノートをしっかり丁寧にとりましょう。しかし、ただ黒板に書かれた文字を写すだけでは意味がありません。大切なのは、見返したときに復習ができるように、先生が言った言葉や付け足しの説明などを工夫して書き、自分だけの「オリジナルノート」を作り上げることです。毎回の授業を大切にしなければなりませんね。

また、自分の考えや意見をまとめることも大切です。自分の言葉で書く練習を授業でしましょう。

三、話す・聞く

国語は教科書を読んで、「オリジナルノート」を作るだけでいいというものではありません。「話す・聞く」ということも、とても大切な国語のテーマです。これは「伝える」力、コミュニケーションにつながってきます。相手に自分の思いや考えをしっかりと伝え、相手の思いや考えを聞くことが大切です。

そのためには、授業中に積極的に自分の思いや考えを発表してください。国語の授業中に間違いなんてありません。授業中に発言した内容はしっかりとした「あなたの答え」なんですから。そして、クラスメイトの発表をしっかりと聞きましょう。

また、グループ学習のときにも「話す・聞く」ことが大切です。分かりやすく伝えるためにはどう話せばよいか、教えてもらうときにはどんな聞き方をしなければならないか、考えながら学びあいましょう。

家庭学習の手引き

一、本とたくさん読む！

※特に学習している教科書の単元を覚えてしまうぐらい何度も読もう。

※教科書以外の本を読むことで、知識の幅や豊かな感受性が身につきます。
(朝の読書の時間はとても大切！心を落ち着けて素敵な本に出会いましょう)

「目指せ！！ 1ヶ月5冊」

※新聞を読もう。コラムなどを読んで自分なりの感想をまとめてみると、考えや意見を「まとめる」という作文能力が伸びます。

二、漢字と覚える！

「読む」「書く」に共通して言えることが、「漢字の知識が必要」ということです。そのために、漢字の学習はしっかりと取り組みましょう。



毎日の積み重ねが大切。一日一個の漢字を覚えれば、一年間で365個も書けるようになります。

「塵も積もれば山となる」

三、問題集と解く！

国語力をつけるには、読書・漢字が第一です。しかし、実力をつけるには、それだけでは足りません。問題を読み、よく考え、答えを書く、この繰り返しで国語の実力をつけるための、大切な方法です。一日一題を目標にコツコツと取り組みましょう。

「解いた問題数＝国語力UP！」